教科目標

医療専門課程
言語聴覚士学科（昼夜間２年制）

養成目的

本学科は、医療・保健・福祉・教育の分野において重要な役割を担う言語聴覚士を養成する。医学的な基礎知識に加えて、言語・聴覚・音声・摂食嚥下など人間のコミュニケーションや食事に関するさまざまな専門知識・技術を身につけるとともに、医療従事者としてのチーム・アプローチの重要性と認識を身につける。また専門職の一員としての協調性、独自性はもちろん医療現場で必要とされる良識を持ち、リスク管理能力を発揮できる人材、患者やその家族との間に信頼関係を構築し、主体的に行動することのできる人材、柔軟な思考性と情緒豊かな人間性、臨床の場において臨機応変に対処可能な社会適応力を備えた人材を育成する。

教育目的（ミッション）

言語聴覚士として最低限身につけておくべき専門的な基礎知識および技能を習得し、医療・保健・福祉・教育の分野において即戦力となることを目指す。また、医療職、対人援助職に必要とされる人間性の豊かさと適切な社会的態度を備えた言語聴覚士の育成を目指す。

養成目標（到達目標）

本学科では医療職、対人援助職に欠かせない礼節・人間性・社会性を十分に身につけ、言語聴覚士として職務に携わるために必要な基本的知識と技術を習得する。そして地域包括ケアの現場において他のスタッフから信頼を得、チーム・アプローチを行っていける、コミュニケーション能力の高い人材の養成を目標とする。

取得目標資格

言語聴覚士（国家資格）

就職分野

病院（リハビリテーション科、耳鼻咽喉科など）、リハビリテーション関連施設、クリニック、児童通園施設（肢体不自由、知的障がい）、高齢者入所・通所施設、社会福祉施設、医療機器・コミュニケーション機器メーカーなど。

職種

言語聴覚士